

# 公益社団法人地盤工学会 平成 23 年度 第 3 回 (第 53 回通常総会時) 理 事 会

## 議事録

・日 時：平成 23 年 6 月 10 日 (金) 16:00 ~ 16:15

・場 所：地盤工学会 3 階会議室

・出席者：

【任期中役員】：日下部会長、岸田副会長、木村理事、西江理事、峯田理事、須賀理事、渡部理事、  
兵動理事、村田理事、石川監事

【新任役員】：天野理事、荒瀬理事、京谷理事、小島理事、小宮理事、田中理事、森井理事、  
八嶋理事、小椋監事

〔欠席者〕：桑野理事、安福理事

\* 定款第 34 条第 1 項に則り、理事出席者 17 名が定足数 (10 名、定員 19 名の過半数) を満足している事を確認し、理事会の成立が報告された。

\* 理事会の議長は、定款第 33 条第 2 項に則り、日下部 治 会長があたり、議事録署名者は、定款第 35 条第 2 項に則り、日下部 治 会長、石川 彰 監事、小椋仁志 監事とし、議事録作成者は木村 亮 理事を選出した。

議 題：

### 審 議 事 項

1. 平成 23 年度理事の会務分担の決定

〔別紙 - 1〕(p.1)

- ・別紙 - 1 のとおり、会務分担案の説明があり、満場一致で承認された。なお、会長、各副会長の所掌する部等について確認した。
- ・会長に事故等があった場合の会長代理は、法人法により事前に定めができないことから、その都度理事会で決定することを確認した。

### 報 告 事 項

1. 平成 23 年度学会運営方針 (会長ご挨拶)

〔別紙 - 2〕(pp.2-5)

- ・日下部治会長より、二期目にあたり学会の運営方針について説明があった。一期目としての活動の柱として、公益法人体制の定着、若手・女性会員数の増加、地盤工学の科学史・技術史と未来図の作成、建設産業の海外展開支援 (未着手) を進めてきたが、二期目は に加えて、大震災の科学的検証と社会への提言、およびそれらの国際的情報発信を活動の柱としたいことが伝えられた。さらに、集中的に議論できる場の理事会で、一期目に続き、二期目も各検討課題の意見交換を行っていきたいとの説明があった。

2. 平成 23 年度理事会等の開催日程

〔別紙 - 3〕(p.6)

- ・別紙 - 3 のとおり平成 23 年度理事会等の開催日程の報告があった。

そ の 他

・以下のとおり、次回の理事会の日程を確認した。

1．次回理事会（書面会議）

日時：6月24日（金）

2．次々回理事会

日時：7月29日（金） 14:30～16:30

会場：地盤工学会大会議室

【参考資料】

- 1．地盤工学会定款、地盤工学会規則、理事会等運営規程

議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名者が下記のとおり記名・押印する。

平成23年6月10日  
公益社団法人 地盤工学会

議長および議事録署名者 会 長 日下部 治

議事録署名者 監 事 石 川 彰

議事録署名者 監 事 小 椋 仁 志

議事録作成者 理 事 木 村 亮

以上